

機械器具 28 医療用定温器
一般医療機器
腹膜灌流液用加温器 JMDN コード 70478001
ステイセーフ®加温器

【禁忌・禁止】

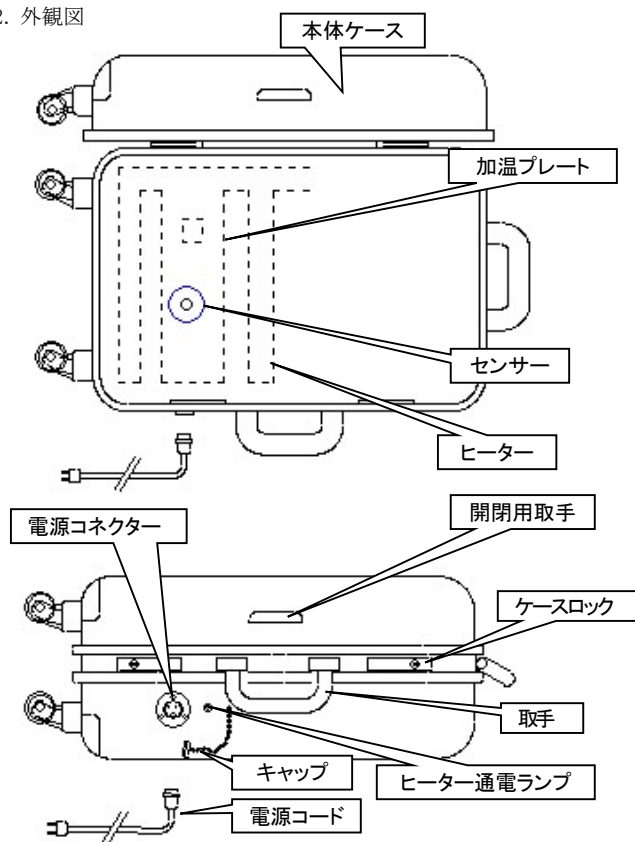
- 1) 警報ブザーが鳴るなど異常または不安定な状態が発生したらただちにステイセーフ®加温器の使用を中止すること。

【形状・構造及び原理等】

* 1. 構成

本品は、本体ケース、加温プレート、センサー、電源コネクタ及び付属の電源コードからなっている。

* 2. 外観図



* 3. 作動原理

加温プレートに取り付けられている制御基盤(裏面に取り付け)がセンサーの温度を読みとり、ヒーターに流す電気を調整する。通電する電圧によりヒーター通電ランプが点灯、消灯する。異常温度の検知は、センサーと加温プレートの裏面にあるセンサー(見ることはできません)で検知する。本品の透析液バッグが正しく置かれていない場合や、何らかの異常で温度が高くなり温度センサーが検知した場合には、異常ブザーを鳴らし加温が中止される。裏面のセンサーが検知した場合は、加温プレートのヒーターに電気を流さない。

* 4. 寸法及び重量

外装外寸 : 590mm×420mm×260mm
(突起物含むサイズ: 650mm×450mm×260mm)

重量 : 5.5Kg

* 5. 電氣的定格

電圧・周波数: AC100V 50/60Hz
消費電力 : 75W

6. 包装

本体----- 1 台/1 箱
電源コード(本体内に収納)----- 1 個/1 箱

【使用目的又は効果】

本品は腹膜透析液バッグを加温するために使用する。

【使用方法等】

- * 1. 本体・正面左下部の電源コネクタのキャップ(金属)をまわして取り外す。
付属の電源コード先端を電源コネクタに差し込み、その上のリングを回してしっかり固定する。この際、コネクタの 3 本ピンの太さに注意すること。
その後、電源コードを屋内コンセントに差し込む。
- * 2. 電源コードを屋内コンセントに差し込み加温を開始する。本体に電源スイッチはついていない。加温を始めるとヒーター通電ランプが点灯し、設定温度に近づくと温度を一定に保つために通電ランプが消灯したり点灯したりする。しばらくして、加温プレートが温まり始めたことを確認してから透析液バッグを置く。
- * 3. 透析液バッグが加温プレートのセンサーを覆うように透析液バッグ(液の満たされた部分)を置く。必要に応じて 2 バッグ目、3 バッグ目は交互の方向に向けて重ねる。透析液バッグ加温中は、加温プレートのベルトでしっかり固定し、本体の蓋を閉じること。
- * 4. 周囲の温度や透析液バッグの数量により加温時間が様々なので適温に加温されている事を確認してから、一番下にある透析液バッグをとる。この際、透析液バッグに記載されている透析液の種類、ブドウ糖濃度を確認すること。
- * 5. 使用後は電源コードを屋内コンセントから抜き、その後本体ケースからも電源コードを抜く。電源コネクタにキャップを付け、リングを回し、しっかり固定する。
本品を使用しない場合は、電源コードを屋内コンセントより抜き、空焚きの状態にはしないこと。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- 1) 本品の異常ブザーが鳴った場合は、電源コードを屋内コンセントより抜き、使用を中止すること。
- 2) 電源の入った状態で加温プレートに長時間、身体や身体の一部を接触した場合、ヤケドの危険性があるので注意すること。
- 3) 加温器の開閉時に施錠部分やかみ合わせ部分で、手や衣類、透析液バッグなどをはさまないように充分に注意すること。
- 4) 湿気の多い場所、高温の場所、油や塩分の多い場所、電磁場の強い場所などは、加温器の劣化、破損、誤動作を引き起こすので、設置及び使用しないこと。
- 5) 傾斜、振動、衝撃のある場所に設置すると転倒、破損などの原因になるので設置しないこと。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

- 6) 水のかかる恐れのない清潔で安定した場所に設置すること。 TEL:045-594-8631
- * 7) 万一の感電防止のため、必ずアースを接続して使用すること。
- 8) 電源コードのコネクターにホコリが付着していないか、がたつきがないか確認してから使用すること。不完全な場合は、火災、感電の原因になるので注意すること。 ** 販売業者
株式会社ジェイ・エム・エス
- 9) 電源コードをむりに引っ張ったり、踏んだりしないこと。 問い合わせ先
TEL:03-6404-0602
- 10) 電源コードが傷ついたり、破損したりすると漏電、感電、火災の原因になるので注意すること。
- 11) 本体の破損の原因となるので、本体の中には透析液バッグを傷つけるようなものは入れないこと。
- * 12) 温度制御の誤作動や加温温度の異常の原因となるので、透析液バッグを本体に入れる際には、センサーを完全に覆いかぶせるようにすること。
- 13) 加温温度の異常の原因となるので、透析液バッグを詰めすぎないようにすること。
- 14) 漏電、感電、故障の原因となるので、加温器内には絶対に液漏れした透析液バッグを入れないこと。
- * 15) 異常発熱などの誤作動を起こし、ヤケド、火災などの原因になるので、空焚をしたり、透析液バッグ以外のものを加温したりしないこと。
- 16) 取扱説明書に記載してある透析液を使用すること。それ以外の製品をお使いになると液漏れ、加温の誤動作などの恐れがある。
- 17) 電源コードを屋内コンセントより抜き、電源コードコネクターを本体側コネクターから抜くこと。電源コードのコネクターを抜く際は、コードを持って引き抜くなど無理な力をかけると、破損の原因になるので注意すること。
- 18) 透析液バッグを本体に入れた状態での本品の運搬、移動は避けること。
- 19) 本品を清掃するときは、電源コードを屋内コンセントより抜いて中性洗剤を布に含ませた物で、拭き掃除すること。有機溶剤を含むシンナー系クリーナーの使用は避けること。
- 20) 電子部品が内蔵されており故障の原因となるので、外部移動の際、階段や段差のある場所で本品に強い衝撃を与えないように注意すること。
- 21) 廃棄の際には、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従い、適切に廃棄すること。

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

傾斜、振動、衝撃などの不安定状態に注意して水のかからない場所に保管すること。

＜保管、使用環境条件＞

温度範囲 : 0～55℃(結露なきこと)

湿度範囲 : 45～85%(結露なきこと)

＜耐用期間＞

3年(自己認証による)

【保守・点検に係る事項】

本品を正しく、安全に使用するために定期点検を実施すること。

項 目	内 容
外観	各部のサビ、汚れ、キズの確認
電気部	電源コード側コネクターや本体側コネクターなど電気的接続部分のガタツキ、キズ、汚れの確認
	センサーの破損、ガタツキ、キズ、汚れの確認

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

東亜電機工業株式会社

取扱説明書を必ずご参照下さい。